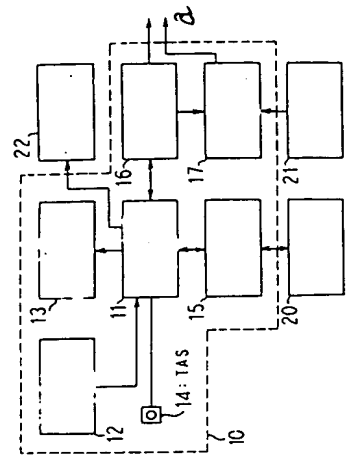


(54) **AUTOMATIC DIALER FOR TELEPHONE SET**
 (11) 4-139940 (A) (43) 13.5.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 2-260458 (22) 29.9.1990
 (71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) KOJI SANAI
 (51) Int. Cl.⁵ H04M1/00, H04M1/27, H04M1/60

PURPOSE: To facilitate the changeover, to attain small size and to reduce the cost by connecting a prescribed changeover switch to an input output control section so as to select either a telephone set or an external device.

CONSTITUTION: A prescribed changeover switch 14 is connected to an input output control section 11 of a hand-free section 10 including a telephone control section 16, a key input section 12, a display section 13 and the input output control section 11 to select a radio equipment or an external device 22 for its usage. The prescribed changeover switch 14 is connected to the input output control section 11 of the hand-free section 10 in this way. Thus, the changeover between the telephone radio equipment and the other external device is easily realized by a key of the automatic dialer and the display thereof only.

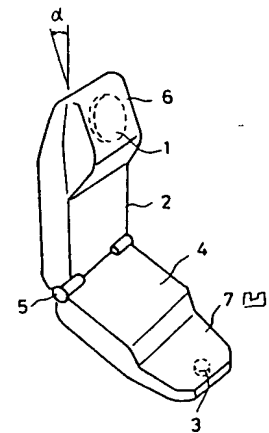


15: amplifier section, 17: voice control section, 20: speaker, 21: microphone, a: to radio equipment

(54) **FOLDABLE TELEPHONE SET**
 (11) 4-139941 (A) (43) 13.5.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 2-261505 (22) 29.9.1990
 (71) NEC CORP (72) YOSHIHARU TAMURA
 (51) Int. Cl.⁵ H04M1/03

PURPOSE: To direct a transmission section in a direction parted from a face of a talker and to prevent the telephone set from being in contact with the face by devising a front face of a container of a receiver is tilted downward toward the end of a reception section.

CONSTITUTION: A reception section 2 accommodating a receiver 1 and a transmission section 4 accommodating a transmitter 3 are connected in a foldable way by a hinge section 5. Then a front face of the receiver 1 of the reception section 2 is formed to be a projection section 6 projected slightly from an inner face of the reception section 2 and the front face forms a downward tilt α toward the end of the reception section 2. Thus, the front face of the accommodating part of the receiver 1 is formed tilted downward toward the end of the reception section 2. Thus, the transmission section 4 is directed in a direction apart from the face of a talker in the usage and the contact of the telephone set with the face is prevented.

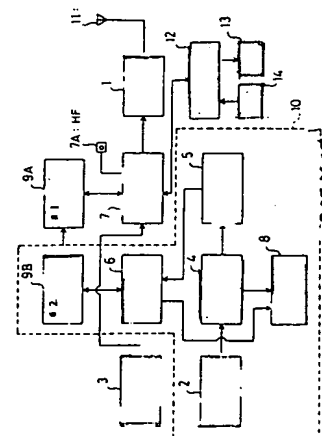


7: recessed part

(54) **AUTOMATIC DIALER FOR TELEPHONE SET**
 (11) 4-139942 (A) (43) 13.5.1992 (19) JP
 (21) Appl. No. 2-260459 (22) 1.10.1990
 (71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) KOJI SANAI
 (51) Int. Cl.⁵ H04M1/27

PURPOSE: To bring back an electronic telephone directory section to its own home and to easily register a required number by mounting the electronic telephone directory section to the telephone set removably.

CONSTITUTION: An electronic telephone directory section 10 including a registration keyboard 2 to register information such as a telephone number of a dialing opposite destination, a storage means 5 to register the information, a registration control means 4 to apply information registration control, a retrieval control means 6 to retrieve the information in the storage means 5, a display means 8 to display the retrieved information or the like and a #2 communication control means 9B for external communication control is mounted telephone set removably. Thus, for example, the electronic telephone directory registration is brought back to its home to facilitate the required number registration.



1: telephone set, 3: keyboard for dialing, 7: dial control means, 11: antenna, 12: voice control means, 13: speaker, 14: microphone, 7A: HIF switch, 9A: #1 communication control means

⑫ 公開特許公報(A)

平4-139941

⑤ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成4年(1992)5月13日

H 04 M 1/03

A

7190-5K

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭ 発明の名称 折り畳み式電話機

⑯ 特 願 平2-261505

⑰ 出 願 平2(1990)9月29日

⑱ 発 明 者 田 村 義 晴 東京都港区芝5丁目7番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 章夫

明 細 書

1. 発明の名称

折り畳み式電話機

2. 特許請求の範囲

1. 受話器を収容する受話部と、送話器を収容する送話部とをヒンジ部によって折り畳み可能に連結した電話機において、前記受話器を収容するように前記受話部に設けた突出部の前面を、受話部の端部に向かって下り傾斜となるように構成したことを特徴とする折り畳み式電話機。

2. 受話器を収容する受話部と、送話器を収容する送話部とをヒンジ部によって折り畳み可能に連結した電話機において、前記受話部の端部近傍部分の面を端部に向かって下り傾斜となるように構成し、かつこの部分に受話器を収容したことを特徴とする折り畳み式電話機。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は折り畳み式電話機に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種の電話機は、第6図に示すように、受話器1を備える受話部2と、送話器3を備える送話部4とをヒンジ部5で折り畳み可能に連結した構成となっている。そして、使用時に受話器1が耳に近接されるように、受話器1を収容する受話部2の突出部6Aの前面が端部に向かって上り傾斜となるように構成されている。あるいは、第7図のように突出部6Bの前面が平坦に突出させた構成とされている。

〔発明が解決しようとする課題〕

ところで、折り畳み式電話機では、ヒンジ部5における折り畳み構造によって送話器3の前面が話者の口に近づくようになっている。このため、第6図に示した電話機では、その使用に際しては第8図に示すように送話部4が話者の顔に非常に接近し(距離d)、多くの場合接触し易いものとなる。これは、第7図に示した電話機においても、ヒンジ部5の曲げ程度によっては同様のことが生じる。

したがって、電話機の使用中は受話部2の突出

部前面のみが人体に接触するのが適宜であるから、それ以外の部分が触れることは、話者に対して違和感が生じ、かつ同時に電話機の一部が話者の顔に触れることにより、電話機の表面が皮脂あるいは化粧品等で汚れ易くなるという問題がある。

また、ダイヤルキー等の操作機構が顔と接触する箇所に配置されている場合には、誤ってこれに触れて、意に反する操作が行われることがあるという問題もある。

本発明の目的は、このような問題を解消した折り畳み式携帯電話機を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

本発明の折り畳み式携帯電話機は、受話器を収容するように受話部に設けた突出部の前面を、受話部の端部に向かって下り傾斜となるように構成している。

また、受話部の端部近傍部分の面を端部に向かって下り傾斜となるように構成し、かつこの部分に受話器を収容するように構成している。

(作用)

に示すように、使用時には、受話器1を収容する突出部6の前面が端部に向かって下り傾斜に形成されているため、ヒンジ部5の近傍箇所は話者の顔から遠ざかり、ある距離d₁を確保できる。しかしながら、ヒンジ部5による電話機の折り畳み構造自体の効果で、送話器3は話者の口に近接され、これにより良好な音響特性が得られる。

したがって、この折り畳み電話機では、電話機の一部が話者の顔等に接触することがなく、違和感を生じさせることがないとともに、皮脂や化粧品が電話機に付着することもない。また、操作機構が顔に触れることもなく、意に反する操作を未然に防止することもできる。

第5図は本発明の他の実施例の斜視図であり、電話機の受話部の端部近傍部位2aを端部に向かって下り傾斜とし、この傾斜面に受話器1を収納したものである。この構成によっても、前記実施例のものと同じ効果が得られる。

(発明の効果)

以上説明したように本発明は、受話器の収容部

本発明によれば、受話器の収容部分の前面を、受話部の端部に向かって下り傾斜としているので、使用時に送話部が話者の顔から離れる方向に向けられ、電話機が顔に接触することが防止される。

(実施例)

次に、本発明を図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例の斜視図である。受話器1を収容した受話部2と、送話器3を収容した送話部4はヒンジ部5によって折り畳み可能に連結されている。そして、受話部2の受話器1の前面は、第2図に併せて示すように、受話部2の内面から若干突出された突出部6として形成されるとともに、その前面は受話部2の端部に向かって下りの傾斜 α となるように形成されている。また、送話部4には、受話部2の突出部6を受け入れる凹部7が形成されており、電話機を折り畳んだときには、第3図に示すように、受話部2の突出部6が送話部4の凹部7に収納されることで、電話機全体をコンパクトにすることができる。

このように構成された電話機によれば、第4図

分の前面を、受話部の端部に向かって下り傾斜としているので、送話部が話者の顔から離れる方向に向けられ、電話機が顔に接触することが防止される。これにより、話者に違和感を感じさせることがなく、しかも皮脂や化粧品によって電話機が汚れることが防止される。また、操作機構が意に反して操作されることもない。

4. 図面の簡単な説明

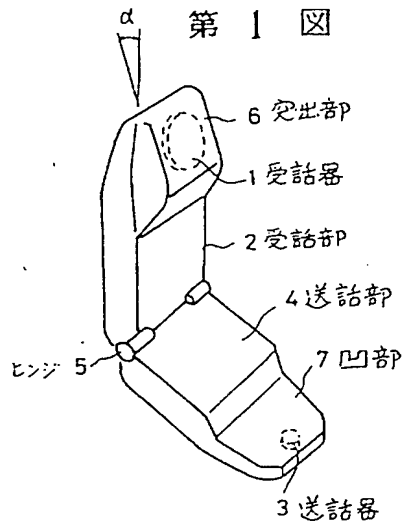
第1図は本発明の一実施例の斜視図、第2図はその正面図、第3図は折り畳んだ状態の斜視図、第4図はその使用状態を示す図、第5図は本発明の他の実施例の斜視図、第6図および第7図はそれぞれ異なる従来の電話機の正面図、第8図は第6図の電話機の使用状態を示す図である。

1…受話器、2…受話部、3…送話器、4…送話部、5…ヒンジ部、6、6A、6B…突出部、7…凹部。

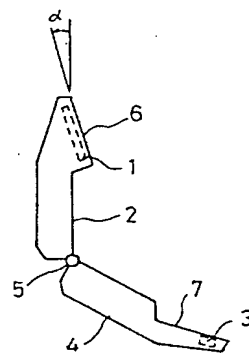
代理人 弁理士 鈴木章 夫



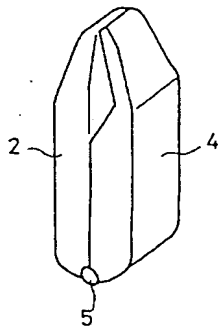
第 1 図



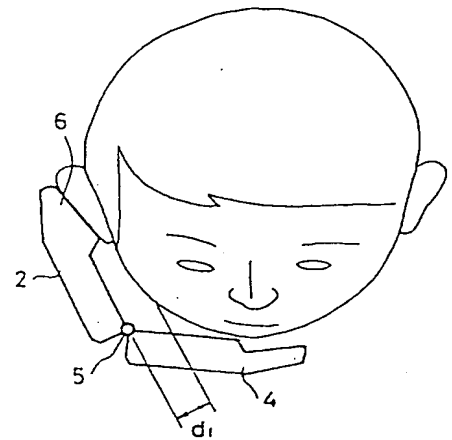
第 2 図



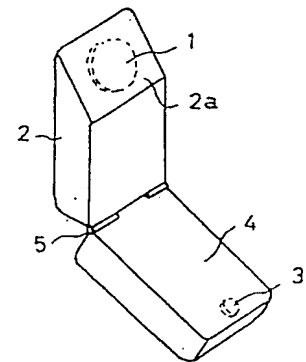
第 3 図



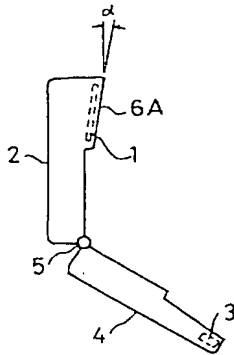
第 4 図



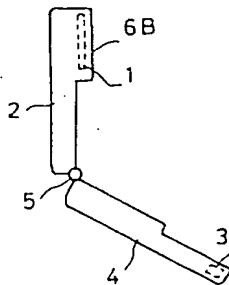
第 5 図



第 6 図



第 7 図



第 8 図

